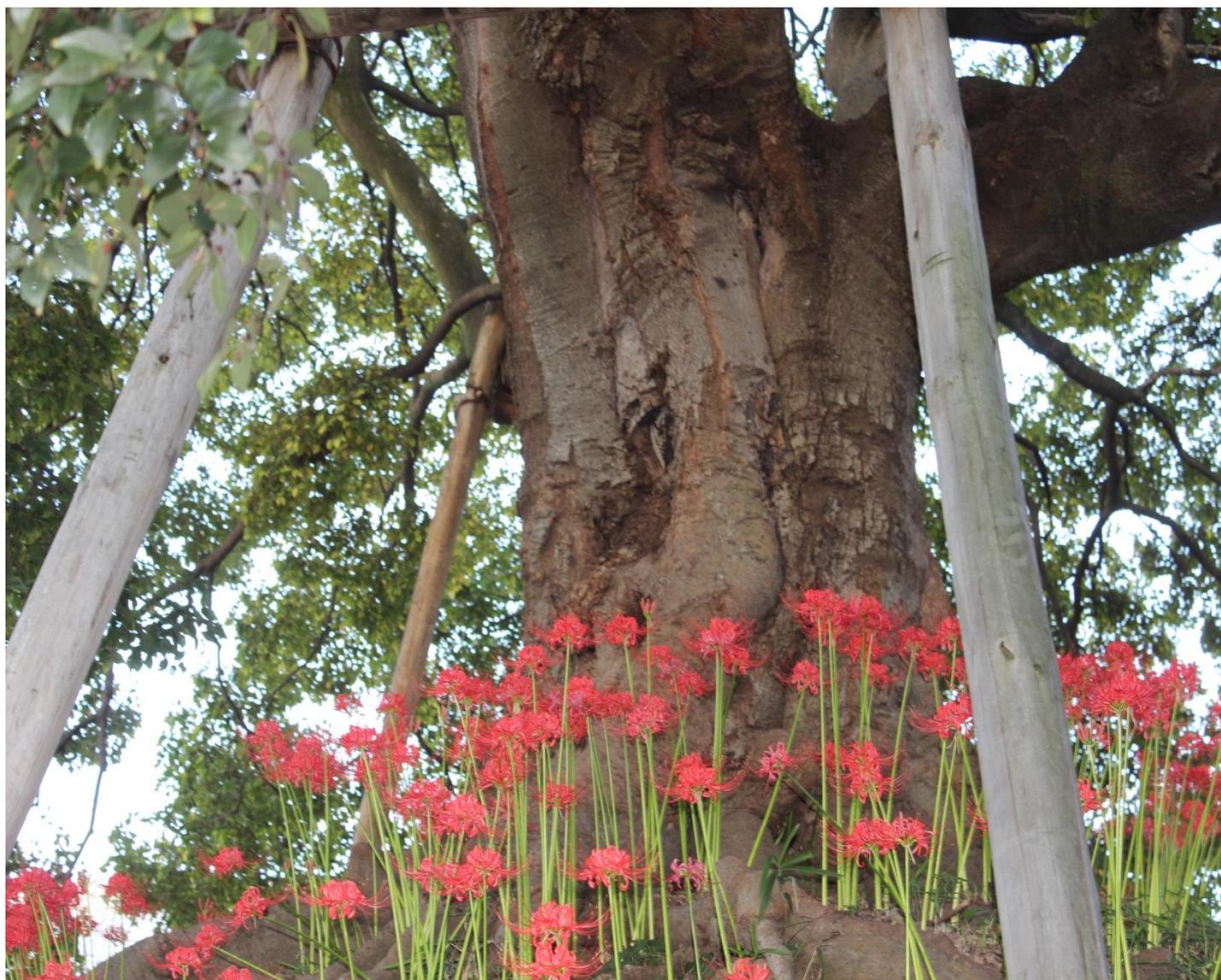


南鯨城会

第44号

こなみ会だより

平成28年1月 発行



笠寺一里塚（彼岸花）





【目次】

表紙

月の雫	1
ちまきとかしわもち	2
「ボランティア関係」	
・ 国道一号線清掃に参加して思う	3
・ 鯉城/堀川清掃～参加報告	4
・ 「こころの絆創膏」 広めよう！	5
・ 鶴舞公園清掃に参加して	6
・ 生涯学習とボランティア活動	7
「行事関係」	
・ 「さわやかウオーク」に参加して	8
・ 第15回「趣味の作品展」に寄せて	9
・ 親睦日帰りバス旅行報告	10
「各ブロック行事」	
・ Aブロック親睦会	11
・ Bブロック食事会開催	12
・ Cブロック 富部神社観月祭と雅楽演奏会の夕べ	13
「会員クラブコーナー」	
・ こなみペタンク大会	14～15
・ 「25ウォーキング会」総会を終えて	16
・ ニーゴ会に参加して	17
・ こなみ会グランドゴルフ交歓会の開催	18
・ 近鉄電車で鳥羽相差の旅	19
・ レインボーカップ・マスターズ・水泳に出場	20
「投稿 随想」	
・ 海外珍体験“徒然草”(巻4)	21～24
「俳句、川柳・短歌」	
・ 俳句 15句・川柳 5句	25～26
・ 平成28年1月～4月行事・会議予定・編集後記	27

「表紙の説明」 笠寺一里塚

徳川幕府は日本橋を基点として東海道はじめ主要街道に一里塚を築きました。市内にはかつて9か所に一里塚があったといわれていますが現存するのは「笠寺一里塚」だけです。土盛りされた上に大きなエノキが根を張っています。春は水仙 秋には彼岸花が咲き 昔の東海道の面影をしのばせています。

{写真撮影 広報 松岡 崇}





月の雫

会長 C-菊住 福祉26期 柴山 眞澄

二十歳になり、親戚に預りの身から自由な一人暮らしを始めた頃、仕事を済ませ、夕食を叔母の家で済ませ、国鉄（現JR）武豊駅前の赤ちょうちんで呑んで居る時に誰かが『泳ぎに行こうか？』と『行こうぜ！』となり10人位の男女が車三台に分乗して夜のドライブと相成りました。『おい！海パン無いぞ？』『大丈夫！夜だから、人の来ない秘密の海岸があるからさっ』着いたところは墓地がある崖の下、確かに他人は来ないわ！（現在墓地はなくなって旅館になっています。）男と女がワァーワァーキャーキャーと裸で泳ぎ遊んでいました。そんな時、空には大きな満月が橙色で燃え輝いているのが波間にゆらゆらと映っていました。若い血が燃え滾っていた頃の「青春の月」ですね。それより十年ほど前の頃、酒を飲んで博打をし、仕事もしないで見知らぬ女性の家で暮らす自宅に帰らない父親、結婚するまで働いたこともない世間知らずの母親、そして僕（7歳）弟（4歳）妹（1歳）。母も経験をしたことのない、獄貧乏生活をしていました。ある日「ますみ！しばらく留守番をお願いねっ」と言って母が家を出て行きました。弟の手をとり、妹を背中に負ぶって母を追いかけましたが大きな通りに出たところで見失い、隣で弟がワァーワァー泣き背中で妹がキャーキャーと泣いていました。僕も泣きたい気持ちでいっぱいでしたが・・・、そんな時、涙をこぼすまいと上を見たら、大きな月からキラリと綺麗に輝く宝石のような雫が落ちていました（自分の涙）。寒い冬の夜空は、幼い心には悲しさと心細さで凍てついていました。母が帰ってきたのは二日後の夕方でした。それから3年後、どこから借りてきたのかりヤカーを持って母が「引越すよ」って。父親との決別の時が来たのだと子供心に感じました。わずかばかりの鍋釜と二組の布団と弟と妹を乗せて、平成天皇の御成婚に合わせて新築をされた母子寮へとリヤカーを引いて行きました。大野城跡の近くで、部落のようなところに新しく女性と子供ばかり13世帯が新しく来たため、近隣の子供たちによそ者虐めにあい、悲しくて苦しみました。今 老人となりこの地に引っ越してきましたがやはりよそ者虐めはなくなりませんか？残り少ない日々を楽しく過ごしたいだけなのにねっ！いつもイオンからの帰り夜空に浮かぶ月を眺めては寒空にぼろぼろ涙した幼いころが蘇えます。人間 強い人もいれば弱い人もいます。やはり「涙の数だけ他人に優しく」を心がけ、過ごしたいよねっ！オールハッピーが一番ですよ♪



ちまきとかしわもち

会計監査 C- 呼統2 陶芸24期 佐野 達郎

端午とは暦を五節句に区切ったひとつです。人日（一月七日）。上巳（三月三日）。端午（五月五日）。七夕（七月七日）。重陽（九月九日）の五節句です。端午の節句の五月五日は菖蒲の節句とも呼ばれています。鎌倉時代ごろから「菖蒲」が「尚武」と同じ読みであることと、また菖蒲の葉の形が剣を連想させることから、日本の風習では端午は男の子の節句とされてきました。したがって、日本では男の子の健やかな成長を祈願し、武者飾りや鯉のぼりを立てて、家族で祝う風習が今も残っています。現在では新暦の五月五日に行われ、国民の祝日「こどもの日」になっています。しかし地方では旧暦の六月五日に行う地域もあります。その昔は端午の節句には、関東では「柏餅」を、関西では「ちまき（粽）」を神棚や、仏前にお供えしていました。これは文化の違いからくるものですが、一体どんな意味が込められているのでしょうか？

柏餅の由来 古代柏の葉は、神様への供え物を盛る器として使われていました。柏の木は神聖な木と考えられたのです。柏の木は厳しい冬を乗り越えて次の新芽が出るまで葉が落ちないという特性があります。子どもが生まれるまで親は死なない→後継ぎが途絶えない、と考えられるようになり「子孫繁栄」の意味が込められるようになりました。主に家系存続が大切な武家にとって柏は大変な縁起物でした。端午の節句の食べ物として定着したのは江戸時代（徳川九代将軍～十代将軍の頃）と言われています。武家だけでなく宮中行事としても「端午の節句」を祝い、柏餅を食べていた事からどれだけ大切なものだったかがうかがえます。このような大変縁起ものの柏餅は、**武家社会から庶民へと広まっていた**と言えます。



ちまきの由来 「ちまき（粽）」は、平安時代に中国から伝わったものです。中国の故事では紀元前三世紀、中国「楚の国王」の側近であった屈原は、人望集めた政治家であったが失脚し失意のうちに汨羅江（河）に身を投げる事となる。それを知った楚の国民たちは「ちまき」を川に投げ込み魚が屈原の遺体を食べるのを制して、供養したのが始まりと言われています。人々は「ちまき」には、邪気を払う力があると信じられていました。当時は、楝樹の葉で包み、五色の糸で縛っていました。日本では、五色の布となって「こいのぼり」の吹き流しとして受け継がれています。また、名前の由来はその昔「茅（ちがや）」の葉で包んでいたところからきています。当初「ちがやまき」と言われていましたが「茅」は「ち」ともいい、こちらが多く使われるようになったため「ちまき」の名前が定着したのです。



ちまきが中国から伝来したのに対して、柏餅は日本独特の食文化と言えます。メイドイン・ジャパンですが、一方のちまきが中国の故事伝来と知り驚きました。

国道一号線清掃に参加して思う

副会長 B-白水 健康 27期 遠藤 信子

11月20日雨上がりの何となく、すっきりとしない空の下、24名の仲間が集まって9時30分から11時15分まで国道に沿って清掃を行いました。車からの投げ捨てられたのか空ビンや缶なども多く、時節柄の落葉も相当量にありました。参加者はどの人も歩きながら目と手を使い、更に口はしっかり動き、これが元気の“もと”かな？と思いました。しっかり持って帰ったごみ袋を分別すると、可燃10袋、不燃5袋の量に達しました。朝、集合した時の表情とは違い、少々の疲れと達成感を感じさせる笑顔がそこそこに見られ、充実した良い一日になりました。



鯨城/堀川清掃～参加報告

副会長 D-桜1 陶芸 28期 岡田 光二

今年で4回目となる「鯨城/堀川清掃大作戦」が、長く続いた好天最後の土曜日
11月7日に催行されました。

堀川第9拠点（東築地神社）に集合した「我がこなみ会」は、総勢16名（男性9名
女性7名）。全11拠点同時スタートに合わせ10時から堀川左岸沿いの街路清掃活
動を開始しました。幸い、時折薄日も射す汗ばむほどの陽気になる中、実際歩いてみ
ると下見の感じより以上に目に入る様々で多くの散乱するゴミにびっくりポン！大
型トラックが結構頻繁に行き交う道路沿いでしたが、11時5分に無事活動を終える
事ができました。

「堀川を考える会」や鯨城学園現役3学科生と合わせて拾い集めたゴミは、450袋
で17袋（可燃13、不燃4）になりました。他にも土木事務所に回収依頼した手に
負えない粗大ゴミ等も散見しました。少しは堀川沿いの環境美化に役立ったかな？
交通手段が不便な方も多くなか、朝早くから参加頂いた会員の皆さんに感謝いたしま
す。

“余談”

当日の集合拠点として、駐車場所やトイレ等を提供して頂いているこの神社の賽銭
箱がこの日、手荒な手口で焼き切られ盗難に遭っていました。その第一発見通報者が
早朝8時に一番乗りされた「こなみ会」のO女史。被害通報等に早い手が打てたと神
社総代さんの言がありました。地域活動では、こんな事がこの先に繋がるんだなとふ
と思いました。以上、ゴミの分別より、ひつつき虫（ヌスビトハギ）の分別除去に苦
戦した男が報告しました。 何はともあれ、お疲れさまでした。

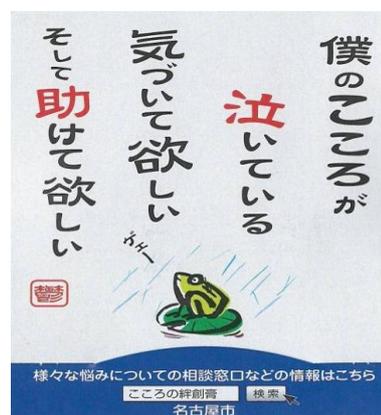


「こころの絆創膏」広めよう！

鯉城会幹事 A-伝馬 福祉 27期 岡田 みち子

今回初めて、金山駅にて夕方5時より「こころの絆創膏」の配布に参加させていただきました。今までは街で何かのチラシを配っていても受け取らない事もありましたが、配っている人の気持ちも知りました。

「名古屋市です。お使い下さい。」と手渡すのが精一杯で、なかなか説明するのが難しかったです。毎日のようにテレビ、新聞で悩みを抱えて相談、解決もできず自ら命を断ってしまうニュースが流れています。果たしてこの「こころの絆創膏」の趣旨をどれだけ通じているか少し疑問になりましたが、悩んでいる人が「こころの絆創膏」の活動を知ってもらうためにも地道に活動していき一人でも多く、少しずつでも理解して、相談してもらえると良いなと思いました。



鶴舞公園清掃に参加して

広報委員 D-春日野1 陶芸28期 古田 和明

10月3日(土)9時30分鶴舞公園正面広場に集合。初参加の私は、予定していたより1台早い時間のバスに乗った。集合時間より45分ほど早く着いたが、目に飛び込んできたのは、会場で各区の鯨城会の役員さん等がのぼり旗を16本余り立て、参加者を待って並んでいる光景に驚き、鯨城会皆さんの心意気に驚きました。

会長、副学長、管理者の挨拶がありましたが、よく聞き取れませんでした。こなみ会のメンバーは在学生と一緒に17名だと思いますが、名前も分からず私自身初参加でしたので、知らなくてご無礼しました。参加者の多さに公園の中は鯨城会の人ばかりで、鯨城会の大きさにびっくりです。こなみ会の清掃範囲は、周回道路に沿ってご



み袋を持ち、落ち葉以外のごみを探して歩きました。煙草の吸い殻が目につきました。歩きながらの話では、公園清掃の人達がいるようで、汚れていないのかな？それとも市民の公園ということでゴミを捨てる人が減ったのか分かりません。中央の展示館近くに寄った時、鯨城会30年記念の植樹をしているからと呼び止められ、その場所に案内された。

1m位の径の穴に高さ1.5m位の樁の木が養生された状態で収まっていた。是非に記念写真を撮って下さいとのことでした。天気も良く散歩しながらの参加者の懇親会のような雰囲気でした。

日頃の運動不足で、歩き疲れましたが気持ちのよい1日でした。

皆さん！ご苦労様でした。



生涯学習とボランティア活動

笠寺(南)公園愛護会 D-桜1 文化B20期 伊藤 信吾

教育界では「自立した青少年を育成するためにボランティア活動が重要である」と言う行政サイドからの積極的取り組みであるが、こうした行政の側からの押しつけは本来の趣旨に反すると言う意見もあります。なぜなら、これは本来「自発性」を原則としているからです。その意味では入試で評価されるからボランティア活動をすると言うのは半ば強制されたものと言えなくもない。それでは「ボランティアごっこ」と批判されても仕方がない。しかしながら教育的にみると、学習は全て「ごっこ遊び」から始まっています。幼稚園のごっこ遊びがその典型で小学校、中学校の理科の実験や社会見学「ごっこ体験」であります。つまり子供の学習は大人の模倣から始まる事が大部分であります。

このように考えてくると、今までは知的教科の「ごっこ学習」はあったが、人間性を培うためのごっこ学習は、少なかったと言うことに気づきます。それは、大人のボランティア活動が少なかったからだと思う。その点大人は大いに反省すべきで生涯学習の中心にボランティア活動を置こうと言う行政の姿勢は評価されます。

わが国でも教育の目的「人格の完成」(教育基本法第一条)とうたっています。このように教育と言うのは本来、ボランティアと密接に係っているのにわが国では大人の活動が少ないものだから子供のボランティアごっこもできなかったのである。したがって、まずは大人がボランティアの見本を子供に示すことの方が先で、子供の入試にボランティアを評価するのは本末転倒と言えるのではないのでしょうか？

さて、ボランティアで最も重要なのは、公共に対する奉仕と考えるだけでなく、他人に奉仕することによって、自分がより成長すると言う自覚をもつことである。つまり、これは他人のために尽くすこと、自己犠牲ではあるが、それによって自分も成長する自己実現の第一歩を踏み出すと言うように理解すべきなのです。他人に奉仕しながら自分も成長していけば、さらに他人に奉仕する度合いは量質ともに増加します。



「さわやかウォーク」に参加して

行事委員 A-豊田 文化B28期 森 洋子

第34回 南区障がい者と区民のつどい「さわやかウォーク」が10月25日（日）大江川緑地で行なわれました。障害者の方々と多くの区民が集い、ふれあう交流の場として福祉の輪を広げる趣旨という事です。この取組みは、障害者関係団体、社会福祉協議会、老人クラブ等、5団体によって主催されていました。開催の挨拶の中で南区が障害者の方々に、際立って手厚い取組みをされている事を知り感激しました。

「さわやかウォーク」も区民と共に障害者の方々が大江川緑地 1.5kmをウォーキングするものでした。車椅子で参加される方々の多さに驚き、又支えるボランティアの方々の多さに感動しました。こなみ会からは13名が参加。ボランティアの役割は、障害者の付き添い、子供達の見守り、駐車場の誘導、ゴミステーションのゴミの分別等、社協の方の指示に従いました。私は、ふわふわトランポリンの担当となりました。まずは体験からと言う事で、ネットの中に入りましたが弾むどころか沈むばかり、歩く事もままなりません。やはり子供達の遊具であると実感しました。トランポリンは大変な人気で、何度も並んで順番を待ちます。歓声を上げながら飛び跳ねている子供達は、元気そのもの大変微笑ましい光景でした。又、ステージでは園児達もマーチングバンド、障害者の方々のアトラクション、施設の紹介など、皆さん元気に輝いて発表されている姿が印象に残りました。冷たい風の中、立ちっぱなしで少々疲れましたが良い体験をさせて頂いたと思っています。



第15回「趣味の作品展」に寄せて

副会長 B-白水 健康 27期 遠藤 信子

第15回「趣味の作品展」が無事終わりホッとしながら感想をまとめています。どの作品を見ても力作ばかりで目を奪われてしまう内容の濃いものでした。区役所講堂の広さに作品の一つ一つが引き立てられ、ちょっとした美術館に足を踏み入れたよう



で、日常を忘れさせる素敵な時間が持てました。当日までには行事委員の人をはじめ役員さんの智恵と時間と労力が結集されている事を体験し、感動も大きなものでした。会場の確保から器材の確認、作品出展依頼、展示作品目録作成、会場レイアウト等、事前の準備は細部にまで注意を払っていました。会場作りが始まるところから

は何となく見えていたのですが、それまでの作業は多大なもので、この後も次年度へ向けての反省点などまとめ、より良い作品展へと続いていくでしょう。歳を重ねていく中で失うものが多いと嘆く声を時折耳にしますが、私達には時間の余裕があります。人と人とをつなぐコミュニケーション能力もあります。作品展を目標の一つ何かに挑戦してみるのも生きがいになるかも知れません。来年以降も楽しみになってきました。



親睦日帰りバス旅行報告

行事部長 D・笠寺 1 環境26期 山田 透

9月30日(水)「松坂城址と御城番屋敷の散策」を実施し46人の方に参加頂きました。当日は快晴に恵まれ、早朝8時に木曾路笠寺店と名鉄大江駅に集合して松坂に向けて出発しました。当日キャンセルもなく予定の46人全員時間迄に揃って頂き、幹事としてはまずは一安心です。途中御在所SAでの休憩を挟み松坂に到着しました。松坂ではボランティアガイドさん2名にお願いして、46名が2班に別れて、松坂城址、本居宣長記念館、御城番屋敷、松坂木綿の館を1時間半のコースで案内して頂きました。下の写真は松坂城の警備を任務とする紀州藩士とその家族の住居です。この石畳の内側に楨垣を巡らした武家屋敷が「御城番屋敷」です。このような組屋敷(長屋)は全国でも珍しく、国の重要文化財に指定されており現在でも人々の暮らしが営まれています。



昼食は松坂の農業公園ベルファーム内で地元の食材を使った野菜たっぷり松坂牛チョップリの「旬菜ランチ」で皆さん満腹、満足のように。(幹事の思い込み?) 食事後はベルファーム内で地元の野菜やお土産を買って帰路につきました。

今回のバス旅行は、近場ということもあってバスガイドさんを頼まなかったのでバスの中で退屈しないかと心配していましたが、帰りのバスで

はじゃんけんゲームで大いに盛り上がりました。

体調を悪くする人もなく、予定の時間よりも早く無事帰って来ることができました。これも参加者の皆様のご協力の賜物と思います。有難う御座いました。



第15回「趣味の作品展」に寄せて

副会長 B-白水 健康 27期 遠藤 信子

第15回「趣味の作品展」が無事終わりホッとしながら感想をまとめています。どの作品を見ても力作ばかりで目を奪われてしまう内容の濃いものでした。区役所講堂の広さに作品の一つ一つが引き立てられ、ちょっとした美術館に足を踏み入れたよう



で、日常を忘れさせる素敵な時間が持てました。当日までには行事委員の人をはじめ役員さんの智恵と時間と労力が結集されている事を体験し、感動も大きなものでした。会場の確保から器材の確認、作品出展依頼、展示作品目録作成、会場レイアウト等、事前の準備は細部にまで注意を払っていました。会場作りが始まるところから

は何となく見えていたのですが、それまでの作業は多大なもので、この後も次年度へ向けての反省点などまとめ、より良い作品展へと続いていくでしょう。歳を重ねていく中で失うものが多いと嘆く声を時折耳にしますが、私達には時間の余裕があります。人と人とをつなぐコミュニケーション能力もあります。作品展を目標の一つ何かに挑戦してみるのも生きがいになるかも知れません。来年以降も楽しみになってきました。



親睦日帰りバス旅行報告

行事部長 D・笠寺 1 環境26期 山田 透

9月30日(水)「松坂城址と御城番屋敷の散策」を実施し46人の方に参加頂きました。当日は快晴に恵まれ、早朝8時に木曾路笠寺店と名鉄大江駅に集合して松坂に向けて出発しました。当日キャンセルもなく予定の46人全員時間迄に揃って頂き、幹事としてはまずは一安心です。途中御在所SAでの休憩を挟み松坂に到着しました。松坂ではボランティアガイドさん2名にお願いして、46名が2班に別れて、松坂城址、本居宣長記念館、御城番屋敷、松坂木綿の館を1時間半のコースで案内して頂きました。下の写真は松坂城の警備を任務とする紀州藩士とその家族の住居です。この石畳の内側に楨垣を巡らした武家屋敷が「御城番屋敷」です。このような組屋敷(長屋)は全国でも珍しく、国の重要文化財に指定されており現在でも人々の暮らしが営まれています。



昼食は松坂の農業公園ベルファーム内で地元の食材を使った野菜たっぷり松坂牛チョップリの「旬菜ランチ」で皆さん満腹、満足のように。(幹事の思い込み?)食事後はベルファーム内で地元の野菜やお土産を買って帰路につきました。

今回のバス旅行は、近場ということもあってバスガイドさんを頼まなかったのでバスの中で退屈しないかと心配していましたが、帰りのバスで

はじゃんけんゲームで大いに盛り上がりました。

体調を悪くする人もなく、予定の時間よりも早く無事帰って来ることができました。これも参加者の皆様のご協力の賜物と思います。有難う御座いました。



A ブロック親睦会

A ブロック長 伝馬 国際 26 期 岡田 正彦

11 月 18 日（水）10 時、参加者 10 名が栄の中日ビルに集い、① 株式会社シーテックの地域熱供給プラントの見学、② 宗次ホールでのクラシックコンサートの鑑賞、③ 和食レストラン「志摩」での昼食会、をセットとした親睦会を開催しました。

① シーテックの熱供給プラントは中日ビルの地下 4 階にあり、まるで地下工場の様子。中日ビルその他、栄サンシティビル、森の地下街などに冷暖房の熱を供給しています。所長の施設全体の概要、省エネ性、環境性、都市機能性に優れた特徴など説明の後、多数の配管と接続したヒートポンプや冷凍機を見学しました。このプラントを 24 時間 10 人体制で稼働していることに驚嘆しましたが、一方で公共事業的色彩が強く、採算性には乏しいとの話には少し心が重くなりました。

② 宗次ホールは、「音楽でたどる花の一生」と題するグノー、エルガー、シューマンなどの名曲コンサートでした。3 人のママさん音楽家による素晴らしいソプラノ歌唱、ピアノ、チェロ演奏にうっとり、夢の中にいるような 1 時間でした。そして終演後、出演者と共に記念撮影を行いました。

③ 和食料理「志摩」での昼食会は、価格以上の立派なランチに下鼓を打ち、多少のアルコールも加わってこの時とばかり一様に口は滑らか。1 時間 20 分余りを和気あいあいの雰囲気ですり合いました。

名残を惜しみながら 14 時 20 分に閉会、現地解散としましたが、参加者の皆さんには総じて好評な親睦会となりました。



熱回収型ターボ冷凍機



遠隔制御監視室



宗次ホール（当日の出演者と参加者の皆さん）

Bブロック食事会開催

ホームページ担当 B-星崎 国際24期 森 晴生

秋晴れとなった10月9日（金）に、Bブロックの食事会が昨年と同じ柴田の「かめや」で開催をしました。が今年は、設定した日が悪かったのか、周知が行きとどかなかったのか、集まって頂いた会員の方は、昨年の半分強でしたが、昨年出席されなかった会員の方もお見えになり、人数的にはいささか少人数となりましたが、食事をとりながらお互い話に花が咲き、2時間という時間がアツと言う間に過ぎてしまいました。有意義な時間が過ごせたと思っています。

次回は、開催時期は未定ですが、是非ともこの会合を継続させていきたいと思っていますので、Bブロックの会員の皆様、是非！是非！この会合に参加して頂き、期を超えてお互いのコミュニケーションを図って頂きたく、御参加をお待ち致しております。





富部神社観月祭と雅楽演奏会の夕べ

Cブロック長 C-大磯 環境25期 竹内 孝明

Cブロック秋の集い

さる9月27日（日曜日）前日の雨も止み、雲ひとつ無い天候となり鎮守の杜に見事な満月があがり、本当に素晴らしいお月見日和になりました。

自然の恵みに感謝と、人々の健勝と、世の安寧を祈念し観月祭がとり行われ、雅楽、浦安の舞いが奉納されました。大勢の参拝者が見守る中、引き続き祭文殿に於いて雅楽の演奏会が始まり、太鼓、笙、しちりき、笛、など十人の楽人で浦安の舞いを始めに、五常楽急と雅の音色が響き渡り厳かな雰囲気にも包まれる中、次の曲「荒城の月」そして「ふる里」は参拝者の皆さん全員で合唱し最高に盛りあがりました。そして最後に雅楽の代表曲の越殿楽で締めくくり、日本古来の雅楽に感動のひとつときを過ごし盛大な拍手のうち終了しました。

今回の演奏会は初めての試みでしたが学区、町内から本当に多くの方々の参拝を頂きました。この機会にと思い「こなみ会」の皆さんに呼びかけをしたところ25名参加されました。終了後、お食事処「喜久光」に於いての食事会には13名の参加で感動を語り合いました。



pixta.jp - 3680709



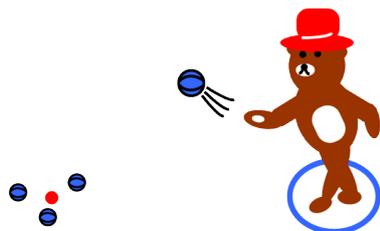
(平成 27 年 11 月 1 日開催：参加者 30 名)

ペタンク同好会 瀬口 勝

こなみペタンク大会

11 月 1 日のお天気予報は 50%降雨です。毎日お天気予報を見ています。心配で、心配で・・・と言うのはもし雨で一週間後の 11 月 8 日になれば、この日は南区の区民祭なので不参加者が多く出る予想です。テルテル坊主を軒先へ下げ祈りました。天に通じたのか！11 月 1 日は雲ひとつなく風もなく、絶好の大会日和となりました（翌日の 2 日は朝から大雨でした）ラッキーです。

こなみ会市川顧問の大会宣言をもって大会の幕が落とされました。30 名の大会参加者は 5 グループに分かれ競技はスタート！！あっちこっちで賑やかな笑いや、悲鳴や、和気あいあいのが響きわたります。



“楽しい笑い” “ヤッター” “入ったー” “嬉しいお喋り” “お友達”



すぐに出来るコミュニケーション、お友達いつでも待ってます！おいでね。

※呼続公園は毎週日曜日 8 時 30 分からペタンクしてま～す。

※道德公園は木曜日 8 時 30 分で～す。

こなみペタンク大会 平成27年11月1日(日)開催

——参加者順位及び賞品表——

	お 名 前	順位賞	飛び賞	参加賞
優勝	金森 重光	○		○
準優勝	野村 しずよ	○		○
3位	春日部 博	○		○
4位	近藤 トミ子			○
5位	加藤 紀代子		○	○
6位	鶴田 千恵子			○
7位	二村 洋治		○	○
8位	太田 鎧智子			○
9位	安達 ひろ子			○
10位	加藤 美江子		○	○
11位	村上 正一			○
12位	田中 良一			○
13位	小野田英子		○	○
14位	菊池 貞子			○
15位	舟橋 清峯		○	○
16位	市川 公一			○
17位	内藤 啓子		○	○
18位	稲熊 千鶴子			○
19位	安達 廣次			○
20位	藤嶋 トシ子		○	○
21位	竹内 孝明			○
22位	田中 節子			○
23位	岡田 みち子			○
24位	佐野 達郎			○
25位	岡田 正彦		○	○
26位	山内 麗子			○
BB賞	浅井 利子	○		○
BR賞	森 晴生		○	○

大変楽しい大会でした！来年も今年同様のご参加をお願い申し上げます。

ペタンク同好会代表 瀬口 勝

(電話&FAX 822-3307 携帯090-6614-6411)

「25 ウォーキング会」総会を終えて

B・星崎 陶芸23期 久野 紀美子

7月30日木曾路笠寺店で25会総会が開催されました。

会員数30名のところ23名が参加して、代表の挨拶、収支会計報告、27年度のウォーキング場所の決定と其々の担当世話役を会員の中で立候補しながら大まかに決めました。(後日役員が微調整をして最終決定)

その後、ビールで乾杯して食事と歓談で賑やかで和やかに総会を終えました。

毎月25日に名古屋市内及び郊外の目的地近くの駅に集合して、その日に集まった人が目的地までウォーキングを楽しんで帰るのですが、希望者はランチ付です。

鯉城学園を卒業後25会に入会し5年経過しますが、名古屋育ちで何十年も住んでいるのに名古屋の知らない場所が多くある事に度々驚き、車で走り過ぎるのではなく足で歩いて見て周ると新しい発見も多く、快い五感の刺激になります。



「ウォーキングは健康に良し！ 脳の活性化にも良し！」

年会費500円で都合の良い時だけの参加で構いません。

年1~2回のみ参加の会員も多く在籍しています。

ぜひ！ 一度25会に参加してみてください。会員一同お待ちしております。



ニーゴ会に参加して

D-笠寺2 国際17期 小倉 康巳

平成27年ニーゴ会の年間スケジュール（27年9月～28年7月まで）に沿って、一回目のウォーキングが9月25日にありました。

コースは「清須城」と「麒麟ビール工場見学」です。当日はあいにく雨降りでしたが、16名もの参加がありました。

世話役の先導でJR清須駅から清須城へ行き、清須城には資料館があり五条川を挟んで橋でつながってありました。資料館を一通り見てから入場料300円払い清須城の天守まで登りました。内部は展示品など一部未完成なところもありましたが、全体が新しく（平成元年に再建）全て木造建築で見たえのある綺麗なお城でした。



雨が小降りの中、次は麒麟ビール工場へ向かいました。当工場ではガイドの案内でビールが出来上がるまでの工程と全体を通してみる事ができます。

やや疲れたかなというところで、ビールの試飲コーナーに到着、ビールの美味しい飲み方など説明を聞きながら試飲しました。最初の一杯がのどに染みて本当においしかったです。ビールの試飲は一人3杯までとのことでしたが、グラスが大きいので大変飲み甲斐があり、飲むにつれ会話もだんだんと弾みにぎやかな雰囲気となりました。私は3杯飲めずに2杯止まりで心残りでした。

麒麟ビール工場見学を最後に帰路につきましたが、雨も気にならないほど楽しい一日でした。世話役の方々には分かり易く親切に案内していただき、ありがとうございました。・・・感謝

ところでニーゴ会の年間スケジュールはいろいろなコースが一杯です。こなみ会の皆さん沢山参加してお喋りしながら思いっきり楽しみましょう。

“Let's enjoy together. ”



こなみ会グランドゴルフ交歓会の開催

グランドゴルフ同好会代表 C-大磯 美術 15 期 舟橋 清峯

恒例の同好会によるグランドゴルフ交歓会を下記のとおり開催しました。

記

期 日 平成 27 年 10 月 27 日 (火) 9 : 3 0 ~ 1 1 : 4 5
場 所 呼続公園グランド
参加者 18 名 (会員数 23 名)
Aブロック 櫛田諄造、野村しずよ、森小夜子、岡田みち子
Cブロック 酒井秀夫、竹内孝明、舟橋清峯、高木みやの、浅井とし
加藤紀代子、稲垣喜美子、竹内秀子、近藤トミ江
Dブロック 伊藤信吾、松田俊隆、二村洋治、畑佐民定、太田鎧智子
成 績 最優秀賞 岡田みち子 38 得点 ホールインワン 2 回
懇親会 すし勘 参加者 15 名



絶好の秋晴れのもと、楽しくプレーできたことを会員一同大変喜んでいました。会場が野球場の外野ゾーンで、地面に凸凹有り、ぺんぺん草ありで決してグランドコンディションは良いとは言えませんでした。愚痴をこぼしながら、それでも仲間を気遣い、和気あいあいと交流できたことは、こなみ会の運営に寄与できるものと確信しました。

グランドゴルフは、高齢者に優しいスポーツです。無理せず、マイペースで行なう事が出来ます。仲間に入られることを心からお待ちしております。プレー終了後の懇親会ではよもやま話に花を咲かせました。



近鉄電車で鳥羽相差の旅

社会奉仕委員 D-笠東 環境27期 倉地 悠美

10月4日（日）近鉄名古屋駅近く、「ななちゃん人形」付近に13時集合。都合の悪い人が2名でき、総勢は12名参加で出発！幹事の方の細かい配慮で、切符は元より飲み物、お菓子持参の楽しい旅が始まりました。電車には向かい合わせで座り、皆さんとのお話に花が咲き、鳥羽には15時45分頃に到着。ホテルまでお迎えの車で向かいました。夕食は18時から始まり、お料理に舌鼓み、皆さん歌上手！独唱から、デュエット等、大変に盛り上がり、踊りの上手な人がどんな曲でも「炭坑節」に変えて踊る後から、全員が踊りの輪になって楽しい夜は更けました。

次の5日は港湾センターから「なぎさ丸」に乗船、鳥羽湾めぐりをしました。お天気も良く、遠くの島々もくっきりと良い眺めを満喫、ゆったりとした旅で皆さん共しっかりお話が出来、楽しい一泊二日の旅を過ごしました。怪我や病人も無く、素敵な旅行を企画して下さいました幹事さん、一緒の時間を共有出来ました皆様有難うございました。



レインボーカップ・マスターズ・水泳に出場、完泳しました

A-道徳 環境20期 櫛田 諄造

今年も2015年9月25日（金）から27日（日）の3日間、こなみ会Bブロックのエリア東又兵衛町、ガイシアリーナ・レインボーカップ・マスターズが開かれ全国から男女の水泳愛好者が集まりました。

この大会は昭和62年この水泳競技場竣工の年から始まり、全国的に水泳愛好者に

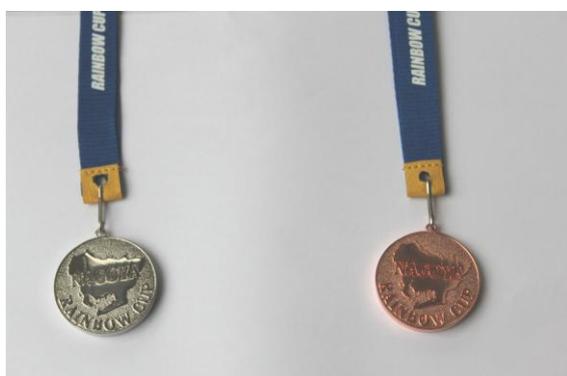


親しまれ、数々の新記録も生まれ、最近テレビ等で話題の100歳女性スイマー長岡選手もこのプールで泳ぎました。

私はこの近場で開催される競技会に最初から出場を重ね、遠隔地からやって来る河童仲間から羨ましがられ、恵まれた条件に秘かに喜んでいきます。

今回も、年齢区分・80歳～84歳・種目は平泳ぎ・50M・100M・200M・3種目に出場し、銀・銅のメダルをゲットしました。

今、私の目標は、常に体調を整え生きてる限り、この大会に挑み続けるのが夢です。



海外珍体験“徒然草”（巻4）

B一千鳥 環境 20 期 荒井 久治

先回に引き続き、珍体験をご披露します。

第26段 ダルビッシュ有とトルコの「或るイスラム教団」

米国野球のメジャーにダルビッシュ有が入団すると、父親がトルコ人のためトルコ人は喜んだ。トルコはイスラム教が盛んで、中南部のコンヤには古い神学校や、雄大なモスク(寺院)があり有名である。その街のホテル入口の回転扉には、白装束の僧侶の姿が描かれ、人の出入りの時に扉が回転すると、その姿が踊る様に見える様にしていた。それは「ダルビッシュ・メヴレヴィー教団の僧侶がトルコ帽をかぶり、白い裾の広いスカートをつけ手足を広げて、ぐるぐる回りながら祈る踊り」で知られている事を現わしたものであった。同じ事は、日本でも1250年頃に一遍上人が民衆に念仏を唱えながら踊る「念仏踊り」（現在の盆踊りのはしりとなった？）で仏教を大衆に広めた事がある。この様にダルビッシュ有の苗字はイスラム教のある宗派に関係しているのだ。更に名をユウと読まずにアリと読むとイスラム教のある派の開祖の名と同じであると言う。トルコでベリーダンスと言う中東の美女による「へそ踊り」を観賞したが、その時のパンフレットにもダルビッシュの踊りもショーとしても観賞できるとあった。

教訓：ユダヤ教・キリスト教・イスラム教は一神教で、自己の宗教以外は互いに邪教とし認めない。（仏教の様なおおらかさがない）



ダルビッシュ教団の先回踊り

ここに現在の中東での混乱、中近東と欧米間の争いの根幹がある。

第27段 イタリアのポンペイの悲劇と教訓

イタリアは火山国。「ナポリを見て死ね」のことわざどおり風光明媚な地中海に面した都市でヴェスヴィオス火山も近い。古代ローマ帝国の時代に、その火山から10kmほど離れた処にポンペイがあった。周囲はブドウ畑が広がり、2千年ほど前の西暦79年には人口2万人を擁し、神殿・広場・多くの飲食店・大きなサウナ室・野外劇場などがあり、豊かな町は水道も完備、石造りの舗道には荷馬車が行きかい、繁栄を示す深いわだち跡を残した。その文明の発達したポンペイが突然の災害で一瞬の間に滅亡。記録から再現すると、そこは数年前の大きな地震とその後の大地震で8割の住民は避難したが、頑張る人のいるもので、二千人程が残り生活していた。突然、大爆発と噴煙は空を真っ黒に覆い、火山弾と降灰と共に火砕流が時速100km以上の速さで襲い、5mもの高さで町を覆ってしまった。人々は熱・有毒ガス・降灰で逃げ込んだ部屋で死亡した。この事はやがて人々は忘れ去られ18世紀になり遺品などが発掘さ

れ、地下の古代都市が計画的に掘り出され再現された。そこを真夏に訪れた。案内人



ポンペイとヴェスヴィオス火山

の説明を聴きヴェスヴィオス山を見ると、遠く霞み、そこから火砕流が5分以内に襲って来るとは想像できない。しかし事実、事前の避難の大切さを知る。灰に包まれた死者は肉体はなくなり空洞を残した。そこに石膏を流し込み石膏像にし、当時の災害時の姿や恐怖を顔に残した姿を再現。掘り出された部屋の中に当時の姿で置かれていた。

この山はご存知の「フリクリ フニクラ」の歌、「赤い火を噴くあの山へ登ろう、登ろう、そこは地獄の窯の中 のぞこう・・・」これは1880年に登山電車が開通した時の歌。1944年の噴火で破壊され今はない。ポンペイの悲劇を忘れた現代人へのたたり？文明の利器を見事に吹っ飛ばしてしまった。

教訓：ポンペイでは天災への対処は「早目に、速く、逃げるが勝ち」を教えていた。

第28段 オーストラリアのペンギン君の懸命な努力

メルボルンから3時間ほどバスで南に走ってペンギンの観察ができる施設を訪れた。そこは南極海に面した場所で、ビジター・ハウスにはペンギンの生態を示す絵・写真や記念品の売店があり、多くの来訪者で混雑していた。外に出ると30度ほどの砂地の傾斜面がわずかな面積の浜辺に向かって落ち込み、その上を50cmほどの高さに杭を立て板を敷き、階段と、立ち止まって見物できる広い踊り場が所々に設けられていた（尾瀬沼の木道を想像）。夕方で次第に暗くなってきたがペンギンはいっこうに現れない。海面を凝視していると突然黒い物が飛び出してきた。ピョンピョン次々と浜辺はペンギンで一杯になり、ねぐらを目指して斜面を次々と登りだした。暗くなり海から陸に上がり行動するのは、鷲を含む猛禽類に襲われない為の知恵。つがいが砂地の急斜面をエッチラ・オッチラと左右によろよるとよろめきながら必死に砂地の坂を登っていく様は涙ぐましい。遠いねぐらなどは海岸から建物の近くまでの30mもの長距離があり朝夕の「海—ねぐら」間の往復、ご苦労さん。



ペンギンのつがい

教訓：一見のんびり顔のペンギン君も、一生懸命生きているのだ。

第29段 近くて遠きは、橋むこうのホテル

ニューヨーク州はカナダ国境までの大きな州で、その南の端にNY市があり、代表的な文化・商業・芸術の中心地はマンハッタン島で、一般的にニューヨークと言え



ジョージ・ワシントン橋

この島を指し、800万人が住む。昔オランダの開拓者が原住民のアメリカンインディアンと、わずかなガラス玉・織物等と交換してこの島を得たと言う。地盤が良く強固な岩盤が露出するほどで地震も無いため20世紀に入り摩天楼と呼ぶ高層建築物が林立し始めた。国連本部もここにある。島への出入りは複数の地下トンネルか複数の橋による。車の冬季テストはカナダまで走る事が多く、島外の橋の近くのホテルを使った。ある日、市内の商社に寄りNYの地下鉄で帰った。橋近くの駅で降り、地下から階段を上がり目的のジョージ・ワシントン橋（長さ1,500m、世界最大の車両交通量

のこの橋は、車道は上下2層、上層は8車線、下層は6車線で計14車線を備える）を徒歩で渡ろうと、橋の車道の横にあるべき歩道に眼を凝らして探した。冬の陽は短く、薄暗い橋は車の洪水で近寄り難い、どう見ても橋の向こう側への歩道は見いだせない。仕方なしにバスで渡ろうと考えた。思い切って、どこへ連れて行かれるか判らないバスに乗ることにした。最短距離のチケットを買い、行き先も知らない満員のバスに乗り込んだ。不安のまま橋を渡った最初の停留所で降りた。あたりを見回すと何と見覚えがある場所で、暇な時にホテルからブラブラ来て見た風景。ほっとして無事にホテルに着いた事は言うまでもない。

教訓：人生、無駄な事もしてみよう。その無駄は何かに役立つ時がある。

第30段 カナダのケベック州の公用語は？

カナダでは英語以外の言葉は正式な場では話されないと思いませんか？しかしケベック州ではフランス語を話さなければなりません。この事を車のある試験で訪れた時に知り、驚きました。ケベック州は日本の国土の2倍もある大きな州で、フランス系住民が8割で、今でも州の独立運動があり、カナダ議会は融和の為の公用語は「英語とフランス語」としています。例えば道路標識や商品の説明書は2つの公用語を併記しています。時には国歌も英語のほかにフランス語でも歌う事があるとの事。ここに至る歴史的背景は、1530年頃に現地インディアンとの毛皮の交易の為にフランスの毛皮商人が入植しました。続いてイギリス人が入植し、争いが起きイギリスが勝利し英国領となった事が始まり。戦争に勝利したから英語を話せと言われても、現実にフランス人が多く生活している地域では州議会でもフランス系が多数派ですから州の公用語はフランス語だけとしました。州都はケベック市、最大都市はモントリオール。

教訓：「人種の融和は言うは易く、行なうは難し」人類の永遠の課題である。

第31段 エディンバラ城とバグパイプの音色

10月のイギリス中部の湖水地方の秋は紅葉で美しい。そこからスコットランドの首都エディンバラに向かった。バスで北方に向かうと次第に荒涼とした風景となる。市内には古い都市だけあって多くの歴史的遺跡があるが、エディンバラ城が印象的。城は高い岩盤上に建てられ、市内のどこからも見える。城に向かい坂は次第に急になり、カーブしながら城門に至る。門にはバリカンの刃を巨大化した様な、下向きのギザギザのタイミング良く落とすと「敵兵を串刺しする兵器」が吊るされていた。原始的で役に立たないと思いつつも、万が一と思うと、首筋を縮めて仕舞う恐怖があった。城の美しい風景を左右に見ながら登って行くと、突然バグパイプの澄んだ美しい音色が響いて来た。曲は「アメージング・グレース」(信じ難い素晴らしい天の恵み)。音源を見るとタータンチェック柄のスカートの人が吹いている。この曲は私の高齢でのピアノの手習いの最初の曲で印象深い。調べると、イギリスの貿易商のジョン・ニュートンが1750年頃に「帆船で嵐に遭い、これまでと死を覚悟した時、奇跡的に一瞬のなぎが訪れ幸運にも港に吹き寄せられ助かった」彼は、その不思議な体験から、神の恵みに目覚めて作詩した。その後、誰かが曲をつけ讃美歌となったと言う。今では日本でも一般的な歌となっている。この城では8月に有名な「ミリタリー・タトゥー」と呼ぶスコットランド駐留部隊のバグパイプと太鼓による大規模な演奏が行なわれる。軍隊とバグパイプは何の関係？その思いがけなさは戦いの指示に使える事。例えば、進め、右・左に曲がれ、など合図は、隊長の肉声より、楽器のメロデーで聴いて行動する方が、悲壮感もなく機械的行動できる、更に高音を使えば砲弾が飛びかう戦場でも容易に聞きとれる優位さがある点である。

教訓：何となく聞いたメロデーでも、当時の年代・場所を懐古させ「ボケ防止に最適」



エディンバラ城 (イギリス)

俳句 米寿の年 十八期 国際 安藤虎杖

鈴蘭の花野遙かに宵の明星ほし

故郷に墓処遺りし望の月

子なく老い墓を洗うも人頼む

百の窓点る団地や月冴ゆる

月に還り点らぬ窓の一つ殖え



俳句 二十六期 文化A 原 喜彦

吹きざらす 畑に残れる 蕪一つ

シチユウ鍋 冷し体を 温むる

山茶花の 赤く際立つ 散歩道

いつの間に 頭出しるる 踏の臺

初詣 世界平和を 祈念して



川柳 二十三期 生活B 湯浅美祢子

イガ踏んで痛みを許す栗ひろい

電車内揃い浴衣で手を握り

美味しさで満腹にする秋が好き

歌謡祭競って衣装まで見せる

栗集め議員どこでも顔を出す



俳句 二十七期 文化A 才野良子

流水の高さに威厳尾白鷲

流水に止まりかもめの流れゆく

寒夕焼け^{ねぐら}埒に帰る百羽の鷄

一口の流水ウオツカにほろ酔へり

こくこくと山河をそむる初明り

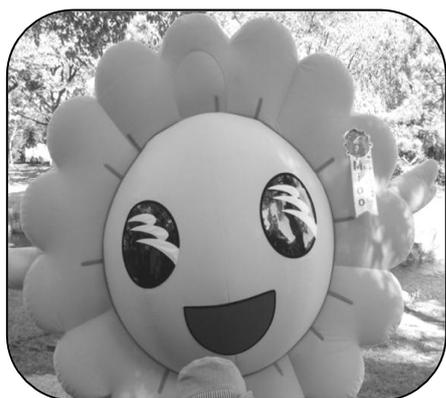


平成28年度(1月～4月)南鯨城会「こなみ会」各種会議・行事

実地日	会議・行事内容	会 場	備 考	
1月	16日(土)	こなみ会だより44号発行	社協5階研修室	広報 全役員
	16日(土)	定例役員会(9:30～11:30)	社協5階研修室	全役員
	18日(月)	熱田神宮参拝・新年会	大同特殊鋼健保会館	行事委員全役員
	22日(金)	地域ミーティング「29期生対象」	鯨城学園第6講義室9階	正・副会長 鯨城
2月	20日(土)	第6回 鯨城会OB文化祭	鯨城ホール	鯨城OB・有志
	20日(土)	定例役員会(9:30～11:30)	社協5階研修室	全役員
3月	6日(日)	名古屋ウイメンズ・マラソン2016	コース沿線・ボランティア	こなみ会ボランティア
	19日(土)	定例役員会(9:30～11:30)	社協5階研修室	全役員
	29日(水)	鯨城会30周年記念同窓会	キャッスルプラザ名古屋	有志
	下旬	第15回G・ゴルフ交換会	鶴舞公園 陸上競技場	こなみ会Gゴルフ同好会
	31日(木)	新旧役員引継	社協5階研修室	新旧役員
4月	日付未定こなみ会28年度総会 大同特殊鋼健保会館 こなみ会員			

南区イメージキャラクターの紹介

【Mioo】”ミオー”で一す……ひまわり畑から来たよ



6年前に南区が区政100周年を迎えるに先立ち平成19年に記念キャラクターとして誕生、認知度は低かったのですが、平成25年度区政運営方針に「花であふれる街づくりの柱として南区の公式キャラクターになりました。今では引っ張りだこです。南区の人気ものです。こなみ会の皆さんよろしく！

チャームポイントは：南区のシンボルマーク形に輝く目

使命：“花と笑顔であふれるまちづくり”

様々な場所に出かけ、出会った人に花の種を配ります

【編集後記】

“新年明けましておめでとうございます”

「こなみ会だより」も今回で44回目を発行する事ができました。皆様のご協力とご支援に厚く感謝申し上げます。地域に密着した親しみやすく読みやすい小冊づくりをモットーに、これからも頑張っていきます。よろしくお願ひ致します。

発行者 南鯨城会 ・ 名古屋市高年大学鯨城学園

発行責任者 南鯨城会会長 柴山 眞澄

広報委員 鈴木京子 才野良子 古田和明

村上正一 松岡 崇 湯浅美祢子